

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	5	今ある状況で狭さを感じさせないようにしている。 現状ではスペース及びルールを決め使用している。	利用状況次第で狭く感じる事がある。 鬼ごっこや追いかけっこなどの機会が増え走るとせまいと感じることもある。 もう少し広いと活動の内容等のバリエーションが増やせる可能性はあるが、現状の広さで有効かつ可能な活動を考え支援している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1		加配加算が算定できる職員体制をとっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		視覚的に気が散らないように、目隠しカーテンを使用したり、不要な掲示物等は貼らないなど工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		今年度は消毒等設定して、清潔で心地よく過ごせる空間になるよう努めている。	利用者用トイレは一つなので男女がわかれている方がいい場合もあり検討課題である。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	個人ごとに目標設定と振り返り表を作成して取り組んではいる。	個人レベルにとどまっている場合が多く、事業所としての業務改善にうまく結びつかない事もある。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			評価については重く受け止め、検討している。改善可能な分については早急に改善しているが、経費等伴う場合は、検討している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		法人のHPにて公開している。	公開しているが周知不足があったことを改めて認識できたので、今後周知方法などを検討し、徹底に心がける。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		法人として検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		外部研修については積極的に活用している。	今年度の研修についてはコロナ感染拡大防止のため制限をしているので実施や活用が限定的になっている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		ミーティングにて検討している。	子どもと保護者のニーズをできる限り把握し、職員等の意見など総合的に判断をして作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			アセスメントツールを参考に発達段階に応じ作成している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			すべての項目についてアセスメントを行い、状況、状態に応じ項目を選択し支援内容等を決めている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			計画に沿った支援内容を提供するように努めている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		主に担当者が立案をしているがその後案をチーム職員で検討している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			利用者や季節などに応じプログラムを考えている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			基本的には個別活動及び集団活動の必要性等を検討し作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		朝終礼にて確認している。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		朝終礼にて確認している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日の様子記録している。	日々の記録についてはしっかりと情報を共有できるようにしている。検証や改善については検討する余地はある。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			計画的に検討するように努めている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	児発管が参加し情報を提供している。	基本的には情報の共有は行っているため、誰がいても情報の提供等は可能である。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		必要に応じ関係機関等との連絡を取っており、ケース会議等も要請している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	⑳ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		必要時は障がい福祉や保育機関等と連携はしているが、定期的な会議などの開催はできていない。
	㉑ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2		相談員やPTなどとは連携が取れているが、医療的な情報については直接医療機関からの情報提供は得難く家庭よりの情報になってしまいがちである。
	㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	必要に応じ情報交換を行っている。	情報交換は行っているが、相互理解などスムーズにいかないケースもある。
	㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	必要に応じ情報交換を行っている。	情報交換は行っているが、相互理解などがスムーズにいかないケースなどもある。また小学校等との情報交換については限定的な場合もあり検討課題である。
	㉔ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			今年度についてはコロナ感染拡大防止のため、かなり限定的な連携になった。
	㉕ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3		今年度はコロナ感染拡大防止のため行っていない。
	㉖ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6			会議には出席し情報共有、連携をしている。
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			連絡帳などを利用して、利用児の様子や情報の共有は心掛けている。
	㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6			ペアプロについては、年長児の保護者を対象に実施をしているため、今後は実施対象の検討を行う。
	保護者への説明責任等	㉙ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に一通りの説明をおこない同意を得ている。
㉚ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		6		計画策定時には計画について、説明をし交付をしている。	
㉛ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		6		計画の説明時や日々の連絡帳等の相談には応じている。	
㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	2		今年度はコロナ感染拡大防止のため一度の開催にとどまってはいるが、欠席者等にも議事録を配布するなど、情報の共有には努めている。
㉝ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		6			迅速な対応を心がけている。
㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		6		月に一度活動内容等をのせたお便り「び〜とだより」を発行している。	
㉟ 個人情報の取扱いに十分注意しているか		6		規程に則り十分注意をしている。個人情報の使用については同意書をいただいている。	
㊱ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		6			現在の利用者については特に不便さを訴えられることはないが、今後必要に応じて検討していく。
㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	2		現状についてはできていないが、開所時は招待して案内等を行った。
㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		6		水害、火災等について避難訓練等を実施している。	マニュアル等については策定をし職員等には徹底しているが、保護者等の周知徹底は今後の課題である。
㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		法定基準に従って毎月実施している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		契約時に状況をきちんと把握している。またその他については順次確認、把握に努めている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		対応を心がけている。	現状はアレルギーを持った利用者がいないが、対象者がいる場合は指示書通りに対応していく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	ミーティング等の際に、事象があった場合には情報の共有及び検証をしている。	報告書は提出し、一件綴りにしているが、事例集などは作成していない。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		定期的実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		現状においては、身体拘束を行うという想定はない。	身体拘束を行う場合は(「緊急やむを得ず」身体拘束を実施する場合の留意点)を検討し実施する。またいち早い解除に向け支援方法を検討する。